

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドド相立てくてく4

国立市立国立第七小学校

平成28年11月24日 NO.71 (371)



花ちゃん 「きれいな紅葉ですね。」

モンタ博士 「いいだろう。これは、展覧会の次の日に、てくてくしてきた写真だよ。」

オー君 「紅葉もきれいだけど、雲もきれいだな。」

モンタ博士 「うれしいね。今日は雲のお話をしようと思ってね、この写真をのせたんだ。」

花ちゃん 「ところで、モンタ博士！空に浮かぶ雲って、どんな雲あるのですか。」

モンタ博士 「うれしいね、いい質問だね。この前の『国立てくてく4』で雲の正体がわかったから、次は雲の名前調べ、雲の分類にチャレンジしよう。」

花ちゃん 「そもそも、雲ってどのくらいの種類があるのですか。」

モンタ博士 「雲はね、植物や昆虫みたいにたくさんの種類はなくて、とても少ないんだ。」

「雲は、いろいろな高さや形から、大きく10種類に分けられているのさ。」

オー君 「へえー。10種類。少ないですね。すぐに覚えられますね。これから雲を見つけたら、何という雲かいろいろと調べてみます。」

モンタ博士 「それはえらいね。感心だね。それでは、予習のためにモンタ博士が雲について右にまとめたので、それを見るといいよ。」

くも の名前	たま なまえ 正しい雲の名前	くも 雲のとくちょう・お天気のようすなど	くも のできる高さ
すじぐも	けんうん 卷雲	とてもきれいな雲で、秋を代表する雲。ハケでうすくはいたように、すじのある雲。	たか ところ 高い所
うろこぐも	けんせきうん 卷積雲	とても美しい雲で、春や秋によく見られる雲。この雲がると天気が下り坂になる。	たか ところ 高い所
うすぐも	けんそううん 巻層雲	空が何となく白っぽくなり、太陽や月のまわりが輪になる雲。天気は確実に下り坂。	たか ところ 高い所
おぼろぐも	こうそううん 高層雲	空一面がうすい灰色をした地味な雲。巻層雲にしているが、太陽や月のまわり輪はできない。	ちゅう 中くらいの所
ひつじぐも	こうせきうん 高積雲	秋に美しく見える雲で変化があり、見ていて楽しい雲、朝夕などこの雲があると美しい。	ちゅう 中くらいの所
あまぐも	らんそううん 乱層雲	あつい不気味で黒っぽい雲で、気持ちまでおちこみそうな雲、雨や雪をふらせる雲。	ちゅう 中くらいの所
わたぐも	せきうん 積雲	雲らしい雲、わた菓子やシュークリームのような形の雲、しばらくよい天気が続く。	ひく 低い所
くもりぐも	そうせきうん 層積雲	くもりの日の雲で、一年中よく見られる雲。あつぼったいかたまりになってる雲。	ひく 低い所
きりぐも	そううん 層雲	一番低い所にできる雲。山などに白くへばりついていることが多く、手で届きそうな雲。	ひく 低い所
にゅうどうぐも	せきらんうん 積乱雲	もくもくととても高くなり、夏の夕立になる。かみなりや大粒の雨になるので注意する雲。	ひく 低い所から高い所へ

オー君 「いろいろな名前があるんですね。」

花ちゃん 「『巻』とか『高』とかいう文字がいっぱい、わからなくなりますね。」

オー君 「『乱』という文字もありますね。」

モンタ博士 「二人ともよく気がついたね。『巻』という文字がつけば高い所、『高』がつけば中くらい、『巻』も『高』もなければ低い所の雲なんだ。それから、『乱』がつけば、雨をふらせる雲ということなんだよ。」

オー君 「なるほど、そうすると覚えやすいですね。ところで、雲は、いつも空に浮いているように見えるのはなぜですか。」

モンタ博士 「ほほー。それはまたいい質問だね。雲をつくる雲つぶは、雨つぶと同じようにゆっくりと下に落ちていくけれど、下から上がってくる空気に押し返されているんだ。」

花ちゃん 「なるほど、そういうことだったのですか。何だか雲が身近なものになった感じです。これからも、いろいろな雲について自分たちで調べていきます。」